

科目名	西洋音楽の歴史と理論		科目コード	1904	
開講学科	音楽学科	単位数	2	形態	講義
教員名	前川陽郁				
授業の目的及びテーマ					
<p>作品を聴くことの体験を通して音楽の十分な実感を持った上で、いわゆるクラシック音楽を様式の連続性や時代背景を重視して歴史的に捉え、また、音楽を通して歴史を考える。</p>					
授業概要					
<p>古代ギリシャ・ローマ時代から、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、そして20世紀までの西洋音楽史の大きな流れを把握する。音楽史上の各時代、各国で、どのような楽派の、どのような作曲家たちが、どのような作品を作曲したのか、主要作曲家を取り上げ、様式的特徴について学ぶとともに、各時代の音階や形式など理論的な面からもアプローチする。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：西洋音楽史のおおよその時代区分と、古典派時代の音楽の特徴。 第 2 回：バロック時代の舞曲、組曲、ソナタ。 第 3 回：ルネサンス時代の音楽と宗教（キリスト教）。 第 4 回：中世における音楽の多声化とリズムの複雑化。 第 5 回：ロマン主義時代の音楽と文学の関わり。 第 6 回：20 世紀の音楽における新しい考え方と方法。 第 7 回：調性音楽の行き詰まりと近代における様々な試み。 第 8 回：大恐慌の前後でのアメリカ合衆国の音楽の変化。</p>					
テキスト	「西洋音楽の歴史」高橋浩子他 著 (東京書籍)		参考文献		
評価方法:					
<p>通信授業は提出課題1件を以って評価する。 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					